

令和 8 年 2 月 吉日
(2026年)
吹田市立山田東中学校
校長 山口 廣治

学校教育自己診断アンケート結果について

厳寒の候、保護者の皆様には益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は本校の教育活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、12月に実施いたしました『学校教育自己診断アンケート』におきましては、ご多用の中、ご回答いただきありがとうございます。生徒用に実施したものと、保護者様用に実施したものの集計結果をお伝え致します。回答の結果を受け止め、教職員一同より安心・安全で楽しい学校づくりに取り組んでいきます。引き続き温かいご支援、ご協力のほど、よろしくお願い致します。

【生徒用の集計結果】

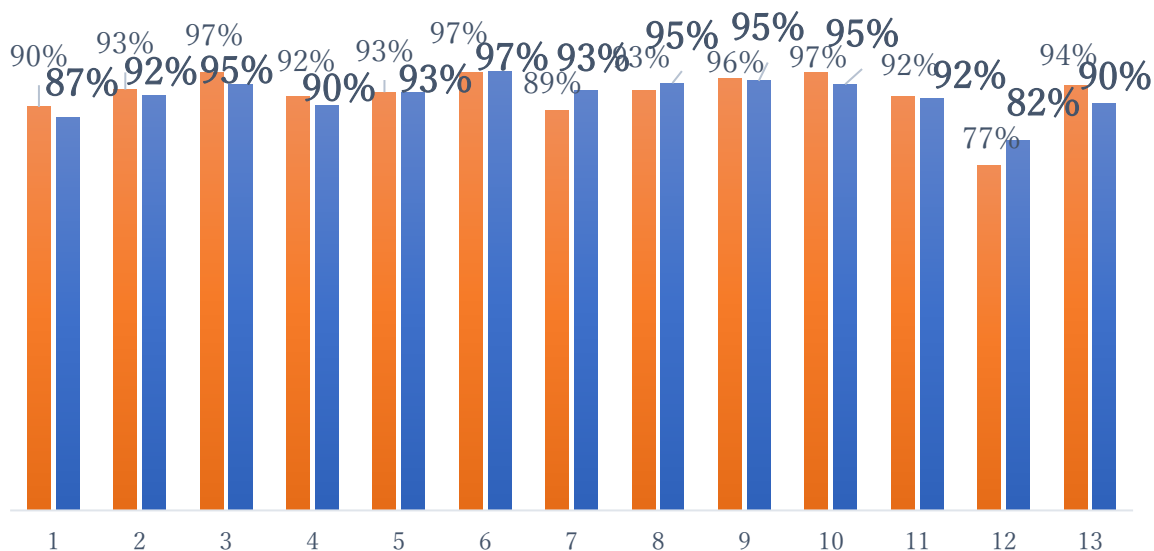
(①～⑬の質問項目)

①学校に行くのが楽しい
②先生は、悩みや相談など生徒の話や意見を聞いてくれる
③先生はいじめなど私たちが困っていることについて真剣に対応してくれる
④道徳・社会体験・進路学習などを通じて、将来の進路、生き方について考える機会がある。
⑤行事、委員会活動、部活動などに対して積極的に取り組んでいる。
⑥命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある。
⑦国際理解、福祉等の学習を通して「人権」について学ぶ機会がある。
⑧自然災害等が起こった場合にどう行動したら良いか知っている。
⑨授業のめあてなど、評価の方法や規準について説明されている。
⑩ICT(コンピュータ、プロジェクタなど)を使った授業が行われている。
⑪授業で自分の考えをまとめたり、発表する機会がある。
⑫授業でわからないことについて、先生に質問しやすい雰囲気がある。
⑬楽しみにしている授業、もしくはわかりやすい授業がある。

(生徒用:昨年度との比較のグラフ)

生徒向け調査 集計・分析結果

■ 前年度 ■ 今年度



調査項目の11項目において、前年度と同様に90%の生徒が肯定的な回答となっています。その中でも③・⑥・⑧・⑨に関しては95%以上の生徒が肯定的な回答となっていますが、③「先生はいじめなど私たちが困っていることについて真剣に対応してくれる」、⑥「生命を大切にする心や、社会のルールについて学ぶ機会がある。」については、昨年度よりわずかに下回っています。③については、デイケンや生活アンケートを活用し、日々の学校生活において細やかな観察と対応を行っていきます。また⑥につきましては、道徳やいじめ防止授業の中では「命の大切さ」を、各教科や特別活動、生活指導の場面において、社会のルールを学ぶ視点を明確にし、生徒がその意味や必要性を主体的に考える機会を充実できるように取り組んでいきます。⑫「授業でわからないことについて、先生に質問しやすい雰囲気がある」では、昨年を上回り、80%以上の肯定的な回答となりました。本校では、「生徒を揺り動かす発問」を研究し、授業改善に取り組んでいることが、積極的な意見交流や質問のしやすさにもつながっていると考えます。

①「学校に行くのが楽しい」では、わずかながら昨年度を下回る結果となりました。今後は学級や学年を中心とした人間関係づくり、生徒が安心して過ごせる環境づくりと、達成感や自己肯定感を得られる活動の工夫など、教職員が連携をし、生徒理解を深めながらいっそうの改善に努めてまいります。

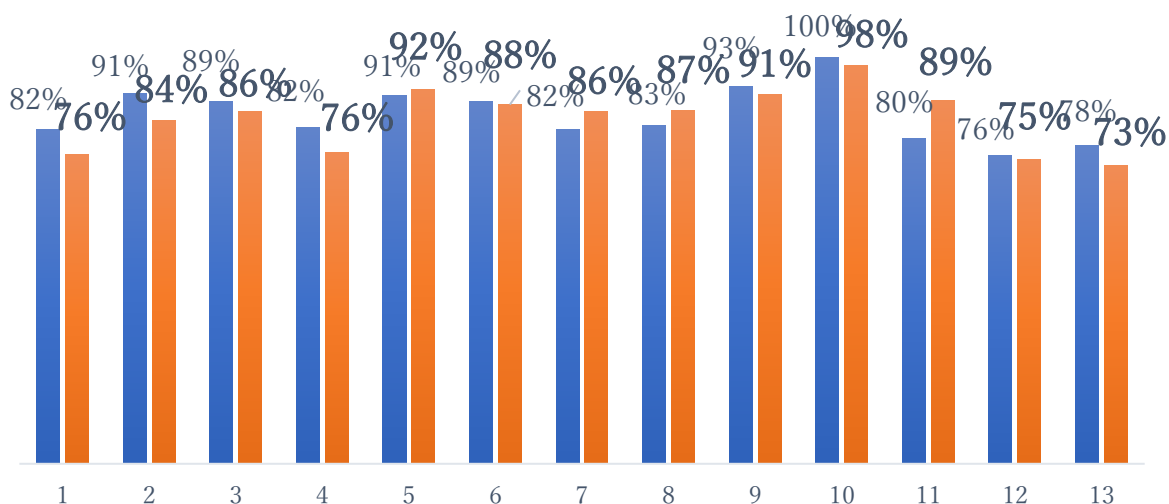
(①～⑬の質問項)

①子どもは学校に行くのが楽しいと言っている。
②学校はいじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。
③学校は子どもの間違った行動を適切に指導している。
④学校は将来の進路や職業について適切な指導を行っている。
⑤学校は行事、委員会活動、部活動などに対して積極的に取り組んでいる。
⑥学校は生命を大切にする心や、社会ルールを守る態度など、豊かな心を持った子どもを育てようとしている。
⑦学校では国際理解・福祉などの「人権」について学ぶ機会がある。
⑧学校は自然災害などが起こった場合にどう行動したら良いか適切に知らせている。
⑨学校は教育目標や教育活動について、学校便り・学年便り・ホームページ・ブログ等を通じて、わかりやすく伝えている。
⑩学校は教育活動を知らせる機会（オープンスクールや合唱コンクール・体育大会等の行事・懇談）を設けている。
⑪学校は学力向上（習熟度別授業、研究授業参観、学習会等）についての取組を行っている。
⑫通知表は子どもの学力や達成度がわかるように工夫されている。
⑬子どもは楽しい、もしくはわかりやすい授業があると知っている。

(保護者用:昨年度との比較のグラフ)

保護者向け調査 結果

■ 前年度 ■ 今年度



アンケートの全体としては80%以上の肯定的回答が多いものの、昨年度より数点下まわるものも見られました。①「子どもは学校に行くのが楽しいと言っている」②「学校はいじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる」は昨年度より肯定的な回答が減少しており、人間関係の不安や生徒を取り巻く環境も複雑化し、生徒一人ひとりの思いや困り感を十分に把握しきれていなかった面があったと考えております。今後も生徒たちの声により丁寧に耳を傾け、安心して学校生活を送れるよう取組を進めてまいります。④「将来の進路や職業について適切な指導を行っている」では、進路や職業に関する指導内容や取組が、ご家庭には十分に伝わっていなかったことや、生徒の将来像を踏まえた支援が十分でなかったと感じています。今後は、各教科や総合的な時間等において、学習内容と将来の進路・職業とのつながりを意識した指導を行います。令和7年度より再開しました職業体験や校外学習を通して、働くことの意義や社会との関わりを学ぶ活動を充実させ、生徒が将来の進路や職業について具体的に考えられるように支援するとともに、保護者の皆様にも学校の取組が伝わるように努めてまいります。

⑦「国際理解・福祉などの人権について学ぶ機会がある」については、昨年より肯定的な回答が増加しました。福祉体験学習での取り組みや、国際教育では、海外との交流の機会を学習として設けており、生徒たちに実体験を通した学びを行っています。今後も充実した学びとなるよう努めてまいります。⑩「学力向上(習熟度別・研究授業・学習会等)について・・・」につきましても昨年度より、肯定的な回答が増加しました。今年度は特に「深い学び」につながる授業づくりを目指し、幼小中冬季研修会において、デジタルシチズンシップ、国語、英語、体育の4教科で研究授業を実施いたしました。その中で、教員間でも意見交流を通して、生徒の興味関心や学ぶ意欲を高める指導方法や授業づくりを研究する機会をもうけました。しかしながら⑬「子どもは楽しい、わかりやすい授業があると言っている」については、昨年よりも肯定的な回答は下回っており、今後も引き続き、生徒たちが主体的に参加できる授業づくりと、「わかる」「できる」「楽しい」と感じられる授業の充実に努めてまいります。

今回の「学校教育自己診断アンケート」の結果につきまして、本校の教育活動を見直す大切な手がかりであると捉えています。いただいたご意見を真摯に受け止め、教職員で共有しながら、教育活動や学校運営の継続的な改善に努めてまいります。今後も生徒一人一人が安心して学び、自分の将来を見据えて成長できる学校づくりを進めてまいりますので、引き続き、保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。